



御茶の水で唯一無二の歯科病院に

病院長 佐藤 秀一

伝統ある日本大学歯学部附属歯科病院長を11月1日より拝命しました歯周病科の佐藤秀一です。この重責を身が引き締まる思いでお引き受けいたしました。本病院はコロナ禍の4年間、クラスターを1度も発生させることなく地域医療に貢献しながら、教育病院として歯科医師育成に尽力してきました。新型コロナウイルス感染症もようやく5類に移行し、以前の日常が戻りつつあります。また、月日が経つのは早いもので2018年10月に新歯科病院が開

院して早くも5年の歳月が経過しました。いよいよ、これから新歯科病院の真骨頂を示す時と考えています。

本病院は御茶の水で単独の歯科病院として他の病院と差別化を図り、都市型の歯科病院としての特色を示すことが重要と考えています。幸い、1日平均700名以上の患者さんが来院されています。治療を受けられたすべての患者さんに高水準の医療を提供し、ホスピタリティーを充実させていきます。

御茶ノ水駅の再開発により今後周辺の利便性がさらに向上してきています。日本大学歯学部附属歯科病院は、次の未来に向かって、すでに歩を進めています。御茶の水で唯一無二の歯科病院となるよう患者さんが満足される治療の提供、優秀な歯科医師の育成に邁進していきたく思います。さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

(教授 歯科保存学第Ⅲ講座)

AIの時代です！あなたも発明をしてみませんか？



研究担当 新井 嘉則

AI（人工知能）が実用化される時代となりましたが、それに先んじて行くことが求められる時代かもしれません。その一つの答えとして、皆様も“発明”をし、それを社会に役立ててみ

てはいかがでしょうか？発明は創造的で、AIがもっとも苦手とする分野だと考えています。

ここでは、それを強力にバックアップしてくれる日本大学産官学知財センター (<https://www.nubic.jp/> 以下、知財センター) をご紹介させていただきます。

この知財センターは大学等の発明に関する法改正を受けて、1998年に本邦第一号として本学に設立されました。それまでは、大学内で発明があっても、その知的財産権の権利関係があいまいでした。また、発明に関する知財の管理は特許法によって行われますが、ルールが非常に複雑で専門的な知識が必要とされました。また、製品化にあたっては、企業との契約が必要とされ、非常に煩雑でありました。このため、せっかく発明をしても社会に役立ち国民全体を豊かにする製品として世に出すことが難しい場合がありました。

これに対して、知財センターでは“コーディネーター”とよばれる専門職の方が強力にバックアップいたします。発明のアドバイスや一連の煩雑な手続きの代行をさせていただけます。

歯学部からもすでに、約250を超える発明の提案があり、約130件の特許登録がなされています。そのなかで企業へ技術移転がなされて、20を超える新製品が誕生し社会貢献をしています。歯学部は他学部と比較し、多くの製品を実用化しています。それらは、画像診断装置、治療器具、歯科技工、材料関連など多岐にわたっています。また、本学が得た特許料は明確なルールのもとに次の研究のために使用されたり、発明者に還元されたりしています。企業からの受託研究費や文部科学省からの科研費の増額にも大きく貢献しています。

AI時代だからこそ、ぜひ！“発明”に関心をいただければ幸いです。

(教授 歯科放射線学講座)

修学等支援のための奨学金について



学生担当 本吉 満

学生が経済面でも安心して学習に取り組めるように、日本大学及び歯学部の学内奨学金や、学外の奨学金財団による奨学金制度が設けられています。これらには給付型と貸与型があり、それぞれ対象

となる条件を確認したうえで、積極的に活用して下さい。

1. 給付型奨学金

- | |
|---|
| 1) 日本大学特待生: 学業成績優秀にして品行方正な学生に対し、毎年度選考の上、特待生として、いずれかの奨学金を給付 (甲種: 授業料1年分相当額の半額及び図書費12万円、乙種: 授業料1年分相当額の半額) |
| 2) 日本大学創立130周年記念奨学金 (2種): 経済的理由により学費等の支弁が困難である学部生 (年額30万円) |
| 3) 歯学部佐藤奨学金 (第1種): 学業成績が優秀な学部生 (年額20万円あるいは10万円) |
| 4) 歯学部佐藤奨学金 (第2種): 課外活動等に顕著な功績のある学部生 (年額10万円) |
| 5) 歯学部佐藤奨学金 (第3種): 海外で開催される学会で研究発表をする2~3年の大学院生 (年額上限50万円) |
| 6) 歯学部同窓会奨学金: 学業優秀で課外活動に顕著な成果を収め学部の発展に貢献した学部生 (年額10万円) 及び学部学生への学習指導貢献が顕著である大学院生 (年額5万円) |
| 7) 日本大学古田奨学金: 学業成績が優秀で人物が優れている大学院生 (年額20万円) |
| 8) 日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金: 学業成績が優秀で人物が優れている大学院生 (年額20万円) |

2. 貸与型奨学金

- | |
|---|
| 1) 日本大学歯学部佐藤奨学金: 人物が優れ、不測の事態により経済的理由等で学業継続が困難な学生 (高学年) に対して選考の上、授業料相当額を限度に日本大学歯学部が貸与。 |
| 2) 日本大学歯学部後援会奨学金: 人物が優れており、将来歯科医師として有望であること。経済的理由により学費の納入が困難であり、かつ他の奨学金による支弁が受けられない5年生以上の学生 (原則として当該年度の授業料相当額以内) に貸与。 |

3. 学外奨学金

- | |
|--|
| 1) 日本学生支援機構奨学金: 学部生及び大学院生には「第一種(無利子貸与)」、「第二種(有利子貸与)」があり、多くの学生に貸与されている。将来の返還については、次の世代の奨学金となるため、厳格な仕組みで運用されている。また、授業料等減免・給付型奨学金などもあり。詳細は http://www.jasso.go.jp/ を参照。 |
| 2) 森田奨学育英会奨学金: 学部6年生又は大学院4年生で、学業・人物ともに優秀かつ健康と認められる者に対して、選考の上奨学金が給付。 |
| 3) NSKナカニシ財団奨学生: 学部学生および大学院生で、学業・人物ともに優秀かつ、経済的理由によって修学が困難なものに対して、選考の上で奨学金が給付。 |

4. その他の制度

提携教育ローン制度等もあり、上記を含めて詳細の問い合わせは学生課まで。

【問い合わせ先 (学生課)】

03-3219-8004 (de.student@nihon-u.ac.jp)

(教授 歯科矯正学講座)

第65回歯科基礎医学会学術大会を主催して

第65回歯科基礎医学会学術大会 大会長 小林 真之

令和5年9月16日(土)から18日(月)にかけて、第65回歯科基礎医学会学術大会を日本大学歯学部にて開催致しました。歯科基礎医学会は、歯科領域の基礎医学研究を総合的に取り扱う我が国唯一の学会であり、歯学基礎系の教員、研究者1600名余りの会員で構成される学際性の高い学会です。年1回開催される学術大会は、全国29歯科大/歯学部が持ち回りで行うことが恒例となっており、本学が主催するのは1995年以来になります。歯学部校舎の移転を終えて新しい校舎と設備をお披露目するという狙いもあって、学外ではなく歯学部本館ならびに四号館での開催といたしました。

開催に当たって広く訴求したのは、歯科基礎医学会の発展には、分野間の伝統的な垣根や常識にとらわれることなく、確固たる信念とともに、大きな展望をもって研究を進めていくことが不可欠であるということでした。そこで、才気あふれて拘束されずに(偶)高い志をもって(儻)従来の枠組みに縛られることなく(不羈)研究を進めるマインドを共有したいとの思いから、メインテーマを偶儻不羈【てきとうふき】といたしました。

準備に当たっては、薬理学講座、生理学講座をはじめ、全ての基礎系講座ならびに基礎自然科学分野の講座にご協力を頂き、「無駄を省いて効率的に運営する」「自分達でできることは自分達でやる」「若手研究者に口演発表の機会を提供する」を基本方針として、生理学講座の篠田雅路教授とともに準備を進めました。

当日は、近年最多の888名という縁起の良い参加者数に恵まれ、大変盛況

のうちに閉会を迎えることができました。ロッテ基金特別講演や各種シンポジウムをはじめ、一般口演、ポスター発表など、いずれの企画におきましてもご参加いただいた皆様よりご好評を賜りました。また、日大歯学部の東京御茶ノ水という抜群の立地や新校舎の機能的な設備についても羨望の声を多く耳にしました。多少ではありますが、日大歯学部のプレゼンスを高めることに貢献できたのではないかと思います。

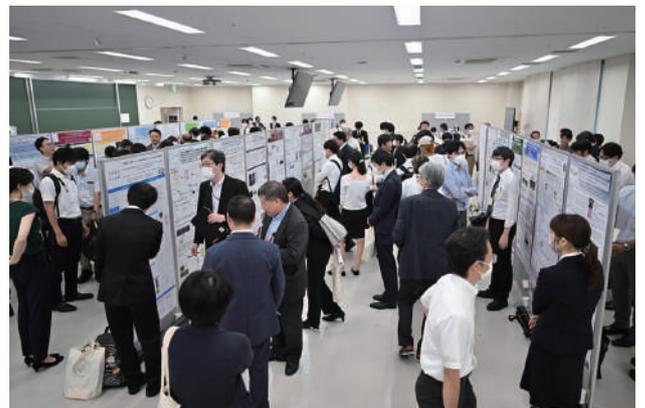
大会開催を通じて感じたのは、日大のポテンシャルの高さです。基礎系教員、職員の方々には、ほぼ1年にわたる準備期間ならびに9月の3連休中の大会開催を通して、ご尽力いただきました。また、臨床講座を含めて多くの先生からの企業、団体の紹介によって、賛助企業、団体数は近年ぶっちぎりの多さであり、ゆとりある財政運営を実現できました。このような堅固な基盤のもとに大会を成功裏に終えることができたのは、先輩達が培ってきた伝統の賜であり、チーム一丸となって行動するこの精神こそが最大の成功要因であると感じています。

個人的に何より嬉しかったことは、日大歯学部の学生が自主的に多数参加してくれたことでした。著明な研究者の講演や最新の研究成果に触れることでリサーチマインドを涵養できたことは、偶儻不羈をテーマに掲げたものとして望外の喜びであり、彼らが将来の日大歯学部を背負って行くことを心から願ってやみません。

最後になりますが、大会運営にご協力いただいた教職員の皆様ならびに篠田教授をはじめとする大会準備委員会のコアメンバーの方々に、ここにあらためて、深く感謝申し上げます。(教授 薬理学講座)



第65回歯科基礎医学会学術大会ポスターは、基礎系講座の業績から顕微鏡写真などを集めて並べたものを背景として、のべ2週間がかりで作成した。



大会当日のポスター会場の混雑ぶり。

令和5年度 日本大学 学生FD CHAmmit

日 時：令和5年9月10日（日）13:00～17:00

テーマ：理想の学部にするための提案／

日大教育の未来のビジョン

場 所：日本大学本部、通信教育部

梶浦 大暉

日本大学の全16学部の学生・教職員が集まり、「あなたにとって、大学とは何ですか？」というテーマに対し、それぞれの視点から意見を出し合うグループワークを行いました。自分にはない新しい視点や意見を知ること、より深い議論を行うことができました。最終的には各学部ごとに集まり、それぞれがグループワークで話し合ってきた内容をもとに「日大教育の未来のビジョン」と「理想の学部にするための提案」について、それぞれ提案書を作成しました。この提案書を通じて、本学の発展に貢献できれば幸いです。（第1学年）

岡田 真治

令和5年度のFD CHAmmitに参加し、まず私が驚いたのは学生の熱量です。各学部の推薦者のほか、公募に対し自ら参加を希望した学生も多く、社交性の高い、意識の高い学生が多いことは事実でしょう。しかし誘導からグループの話し合いを、嫌味なく学部隔たりなく仕切る姿には感銘を受けました。加えて話し合いに共通して言えることは、意見を発することでより良い方向に環境を変えたいという熱量です。確かに教員の立場からすると、残念ながらすべての希望を叶えることは不可能です。しかし、この前向きで明るい学生の熱量を活かす大学づくりを行うことが、昨今の時流から考えても今こそ必要ではないかと考えさせられた1日でした。

（助教 歯科補綴学第I講座）



FD CHAmmitでの様子

令和5年度 歯学部学生 FD「しゃべり場」

日 時：令和5年10月13日（金）17:20～18:30

場 所：歯学部本館1階 ラーニングcommons

齋藤 円

「しゃべり場」とは、歯学部の学生と教職員が一堂に会し、決められたテーマについてグループ別に意見を出し合う場で、平成28年度から実施されているそうです。今年は先行して実施された本部主催による「日本大学 学生FD CHAmmit」への歯学部からの参加者を交え、「理想の学部にするための提案」と「日大教育の未来のビジョン」をテーマに、学生は第1～5学年の各学年から3名程度が参加し、先生と職員合わせて計28名で実施されました。各グループに先生と職員が加わることで、学生は要望や普段感じていることを直接伝えることができる、貴重な機会となりました。（第5学年）

大山 哲生

令和5年度のしゃべり場は、本部が主催する「令和5年度日本大学学生FDCHAmmit」で話し合った「理想の学部にするための提案」と「日大教育の未来のビジョン」について、その具体案を考えることがテーマとして掲げられました。私は初めて参加したのですが、学生は自分達の大学に対して、どうすれば学習環境が改善するか？を教員・職員が想像している以上に広い視点で考えていました。6年生以外で講義後に質問に来る学生など殆どいない昨今、初対面の学生同士や怖そうな上の世代の教員や職員の前なのに、適切な環境を与えてあげれば、臆することなく堂々と自分の考えを述べる事が出来る学生がいることに、純粋に驚いてしまいました。結果が思い通りとはならないかもしれませんが、提案した事案に対して学部がどう対応したのか？等のフィードバックが適切に行われることで、良い循環が生まれていくのではないかと感じました。（専任講師 歯科補綴学第II講座）



しゃべり場での様子

リーダーズキャンプに参加して

クラブ協議会会長 佐藤 太

11月11・12日にリーダーズキャンプが開催されました。12年ぶりに1泊2日で軽井沢での開催となりましたが、トラブルなく終えることができ、とても嬉しく思っています。軽井沢での開催にあたり、学生課の方々やスケジュールなどの相談をしたり、資料を1から作成したりと、分からないことばかりで会長としての重圧や責任を感じ、不安に押し潰されそうでした。当日は、参加して頂いた学生生活委員会の先生方、学生課の方々、学生の積極的な協力のおかげで、終始良い雰囲気ですスケジュールよりもスムーズに余裕を持って進行することができました。話し合いの時間では、来年の勧誘や各クラブからの要望について意見交換や質問を交えながら、今後に向けて活発に議論、協議を



行うことができ、内容の濃い時間にする事ができたと感じています。リーダーズキャンプで

このことを学校生活に反映していくと同時に、今回の良かった点、反省点をよく振り返って考え、来年やさらに続く後輩たちに繋げていきたいと思えます。

現在のクラブ活動は、コロナウイルスによる制限も大きく緩和され、コロナ以前の状態に徐々に戻ってきていると感じます。その中で、コロナ以前の規則や慣例の中には「今の時代に合っていないものがあるのではないか」という意見を頂き、私自身もそう感じるころもあります。それを踏まえ、コロナ以前のクラブ活動に戻すという考え方ではなく、今の状況や時代に沿った新たな形を作り、後輩たちへ継承していきたくて考えています。これから1年間クラブ活動が良いものとなり、学校生活がより豊かになるようクラブ協議会会長の役割を一生懸命務めていきます。今後ともよろしくお願ひ致します。



最後になりますが、リーダーズキャンプに参加して頂いた先生方、学生課の方々、学生の皆さん、ご協力して頂き本当にありがとうございました。(第4学年)

学生会副会長 天野 真未

平成23年以来12年ぶりに、日本大学軽井沢研修所で宿泊を伴う形でリーダーズキャンプが行われました。現地は非常に寒かったのですが、紅葉がとても綺麗で日々の疲れが吹き飛びました。

意見交換や討議が2つのグループに分かれて行われました。私が参加したグループでは学生会会長や学年代表者会のメンバーと桜歯祭実行委員と球技大会実行委員が集まって話し合いを行いました。ここでは大学への要望や桜歯祭や球技大会をより良いものにしていくための幹部学年の交代や日程に関する議題が出ました。先生方からアドバイスを頂きながら活発な意見交換がなされ、とても有意義な時間を過ごすことができました。もう一つのグループであるクラブ協議会の方では新年度の勧誘など具体的な話し合いがなされたようです。

また、今回初の試みとして、共通テーマの話し合いもなされました。議題は「SNSを用いた友人とのコ



ミュニケーションについて」です。個人情報や写真などが簡単に拡散できること、SNSを使っていない学生に情報が回りにくいことなど、様々な問題点が挙がりました。SNSは便利ですが、欠点も理解し上手に活用していく必要があると感じました。

その日の夜は、学年やクラブを越えて多くの学生と交流を深めることができ、さらには授業でお世話になっている先生方と普段とは違った話をする事ができました。歯学部仲間や先生方との絆がより強くなったと実感できた時間でした。

次の日の朝は寝不足の人が多かったような…笑。最後は前日のミーティングのまとめをしてバスで大学に戻りました。学内で行うのとは違い、いつもとは異なる環境で長時間話し合いができるというのが宿泊を伴う形式ならではの良い点だと思いました。

同行してくださった先生方、研修所のスタッフのみなさまに心よりお礼を申し上げます。リーダーズキャンプに参加したこれからの仲間たちとともに学生生活をより良いものにしていきたくてです。

(第4学年)

桜歯祭を終えて

桜歯祭実行委員長 西出 怜央



「Be 歯ppy」をテーマに、今年度の桜歯祭は芸能企画と模擬店が復活し、主体となる4年生幹部と委員一同は勉強やクラブの合間をぬって、全力で準備に勤めました。

もともとマイペースな私は委員長としての重責と不安に押し潰されそうでしたが、いざ学祭が始まるとパンフレットは品切れ、飲食模擬店は2日目の材料に手をつける大盛況となり、喜びと安堵で胸がいっぱいになりました。シークレットゲスト なかやまさんに君のステージも存分に笑い、楽しんでいただけたことでしょう。

意見の衝突を乗り越え仲間と連携しながら1歩ずつ頂をめざした貴重な経験は宝物です。ご支援ご協力いただいた皆さま、ご尽力いただいた先生方、学生課並びに桜歯祭実行委員の皆さん、本当にありがとうございました。(第4学年)

桜歯祭副実行委員長 福島 金龍

令和5年10月6日、10月7日の2日間、桜歯祭が開催されました。コロナ禍も明け、模擬店企画、芸能人企画が復活し、例年よりも準備は大変ではありましたが、先生方並びに桜歯祭幹部、そして桜歯祭委員に入って下さった方々が一致団結して頑張った結果、活気に満ち溢れた素晴らしい桜歯祭を開催することができました。(第3学年)

100周年記念講堂企画長 鈴木 翔大

私はビンゴ大会企画長として、企画と運営を担当させていただきました。皆さん楽しんでいただけましたか？昨年度の盛り上がりを見ていた分プレッシャーがすごかったですが、無事成功して安心しています。この機会をくれた実行委員長の西出くんには感謝しています。実行委員の皆さん、そして実行委員長、本当にお疲れ様でした。(第4学年)

カラオケ大会企画長 外崎 大誠

今年度は、カラオケ大会企画長という大役に任命されました。企画の計画を進めるにつれて、多くのクラブがこの企画を楽しみにしている事が伝わり、気合が入りました。多くの方の協力のもと、カラオケ大会は大成功を収める事が出来ました！しんどい事や反省点も多かったです。それも含めて後任の者に、この企画のやりがいを伝えて行けたらいいなと思います。(第4学年)

芸能人企画企画長 西田 裕貴

4年ぶりの開催となった芸能人企画。なかやまさんに君さんをゲストに迎え大盛況のうちに幕を閉じました。本番を迎えるまでに見えない苦労が多々ありましたが、観客席の学生や教職員の方々の笑顔を見て成功を実感することができました。ゲストからいただいた「パワー!!」を力に頑張っていきましょう!(第4学年)

会計担当 嘉数 萌音

今年度はコロナ禍の制限が撤廃され、様々な企画が復活して活気のある桜歯祭になりました。会計という緊張感の中でも、各企画長、各クラブ、先生、会計補佐と多くの方と連携をとり、トラブル無く当日を終えることができました。皆様の協力のおかげです。来年度もご協力宜しくお願いします!

(第4学年)



いちにち歯医者さんを終えて

企画長 池澤 桃香



「いちにち歯医者さん」は、一般の来場者が歯科医師の仕事を体験できる企画です。今年度は、小さなお子様からご年配の方まで、約200人の方にご来場いただきました。実際に歯の切削や型取りを楽しんでいただくことで、

歯科医療に興味を持つきっかけをご提供できたのではないかと考えております。また、歯科に関する疑問に委員がお答える場面も多く見られ、委員にとっても良いコミュニケーションの場となりました。企画を無事に終えることができたのは、ご支援いただいた先生方や、忙しい中でも熱心に働いてくれた委員の皆さんのおかげと感謝しております。今回の反省を生かして、来年度も実りある企画となるよう、精一杯サポートさせていただきます。(第4学年)

駿技祭を終えて

実行委員長 野浦 美唯



今回の駿技祭では、昨年と同様に歯科技工物の展示と歯科技工関連グッズを製作し、販売を行いました。歯科技工関連グッズは、歯型マグネット、シルバーアクセサリ、ミニチュア義歯ストラップ等を製作しました。昨年度と同様に今年も好評

でした。今年は1日歯医者さん企画に歯科技工専門学校も一緒に参加し、歯学部生との交流の場もあり、企画長にはこのような機会を作っていただき感謝しております。

この行事を通して学年を超えた親交が深まり、文化祭とともに作り上げられたことはとても良い経験となりました。駿技祭の運営にあたり、ご協力いただきました教職員の方をはじめ、桜歯祭と翔衛祭の実行委員のみなさま、全ての方に心より御礼申し上げます。
(技工専門学校第2学年)



翔衛祭を終えて

実行委員長 難波 望



今年の翔衛祭は、アロマストーンの販売・手作り体験の企画を行いました。1年生のみでの運営となりましたが、翔衛祭を無事に終え、より絆が深まったように感じています。

私たち一人ひとりが考えて作ったアロマストーンは、色とりどりで可愛い出来栄えとなっており、ご来場いただいた皆様からも好評を得ることができました。また、アロマストーンの手作り体験でも多くの方に楽しんでいただけて大変嬉しく思っております。

この行事を通して、様々な方と交流する機会を得ることができ、大変貴重な経験となりました。来年も今年の反省点を生かし、より良い翔衛祭となるように皆で協力して取り組みたいと思います。

翔衛祭の運営にあたり、ご協力いただきました先生方をはじめ、桜歯祭実行委員の皆様、全ての方に心より御礼申し上げます。
(衛生専門学校第1学年)



臨床研修歯科医師 選考試験について



卒後教育担当 萩原 芳幸

日本大学歯学部附属歯科病院では学部教育で習得した歯科診療に関する知識、技能および態度を臨床の場に結びつけるシームレスな指導のために、3種類の研修コースを設定しています。

1. S・C・O・Pコース [口腔外科・補綴科・保存科・口腔診断科(ペインクリニック)のいずれかを3ヶ月間、協力型臨床研修施設で9ヶ月間の複合研修方式]
2. Rコース [口腔外科・補綴科・保存科および協力型臨床研修施設で3ヶ月毎ローテーションする複合研修方式]
3. CDコース [総合診療科での通年研修]

加えて、島しょ地区(伊豆諸島)での離島診療研修など、学外での様々な研修プログラムを選択することができます。

募集定員は計140名ですが、当歯科病院での研修希望者は毎年増加傾向にあります。

当歯科病院で臨床研修を行うためには当歯科病院が実施する選考試験を受験し、その後マッチングする必要があります。選考試験として①書類審査、②面接、③筆記試験を実施いたします。①書類審査では5年次までの学業成績などを評価します。②面接は本学部6年生ならびに既卒生は免除されますが、在学中の生活態度(受講態度、出欠席状況、クラブ活動、学内外における学校行事への参加状況および表彰歴)などを評価します。他大学卒業の受験者については出身校とは異なった環境で研修を行うため、当歯科病院で研修を行うに足る人物であること、また積極性と協調性を有することなどを重要視しています。③筆記試験は本学および他大学の現役生および既卒生を対象に例年7月中旬に実施します。その後、選考試験の結果をマッチング協会に提出し、10月下旬にマッチング協会から当歯科病院にマッチした140名のリストが送付されて仮契約を行います。

皆さんが国家試験に合格し、来年度の歯科医師臨床研修を当歯科病院で受けられることをお待ち申し上げます。(教授 歯科補綴学第Ⅱ講座)

解剖体追悼法要

三浦 尚哉

2023年10月28日土曜日、築地本願寺にて松戸歯学部との合同解剖体追悼法要が執り行われました。

私達は第2学年となり、前期では「運動器」、「神経」、「内臓」、「脈管・感覚器」の講義を通して、医学の道を進む第一歩となる解剖学の基礎を学び始めました。およそ600ページに渡る教科書や先生方のまとめてくださった講義資料など、それらの教材を通して人の体とは如何にしてできているのかを学びました。

後期になり、人体解剖学実習が始まりました。実際に御遺体に触れることで、私達がこれから行う学習行為の重大さと重



歯学部学生を代表して焼香をする 三浦さん

要さ、そして何より、これからの人類の医学の発展のためにご自身のお身体を捧げてくださった故人の篤志と御遺族の方々の深いご理解に接し、将来一医療人になる身としての決意を強く感じました。

私達は実習のたび、その思いを常に心に刻み、自らの意思で医学の道へと進んだ私達が学ばなくてはならないことだと感じ、御遺体の筋肉や血管、神経などを丁寧に剖出し観察していきました。教科書だけでは学ぶことのできない人体の神秘に触れ、更なる知識の発展へと繋げていきました。

解剖体追悼法要では、御遺族の方々と式を共にさせていただき、御献体くださった方々に対し手を合わせることで、この実習が多くの方々の思いの上で



行われたことを改めて実感すると共に、私達が今、解剖学を学ばせていただけていることへの感謝の気持ちがより一層大きなものとなりました。

この人体解剖学実習を通して、医学的知識を確かなものにするとともに、御献体くださった故人、ご遺族の方々、そしてこの実習に関わってくださる全ての方々に感謝と敬意を払い、これからも勉学に精進していきたいと思っております。(第2学年)

海外派遣

納村 泰弘

令和5年3月より6か月間、ノルウェー王国のオスロ大学に海外派遣研究員として滞りました。申請したのはコロナ禍前であり、まさに出発する直前で渡航中止になった、三年越しの念願の計画でありました。

渡航先のオスロ大学歯学部では、歯科矯正学のVandevska-Radunovic 教授や講師のHamran先生にお世話になりながら、北欧歯科材料研究所との共同研究として、日本ではまだ流通していない新規の保定用ワイヤーの材料物性を報告する計画でした。また、アジア人の少ない国民構成や人口、風習、社会保障など日本とは懸け離れている、グローバルで多様性のある社会に身を置くことによって、より比較対照的に物事を感じることができるといのも、ノルウェーの魅力であり渡航目的の一つでありました。

滞在中は、幸運なことにVandevska-Radunovic教授が大会長としてヨーロッパ矯正歯科学会大会をオスロで開催したため、成果報告を行うこともできました。さらにヨーロッパ矯正歯科学会雑誌の編集委員長であるヘルシンキ大学のRice教授にもお会いする事ができ、大変実り多き滞在となりました。

渡航当初は、まだ降る雪に困惑し、段々生活に慣れてきた頃に、ノルウェーの憲法記念日の大パレードを観て国民の一体感に圧倒されましたが、大学の人はもちろん、スーパー、レストランやバスの運転手に至るまで街中の人々は大変親切であり、過ごしやすく、そしてとても温かい国でありました。

最後にこの貴重な機会を与えて下さりました前学部長の本田和也教授、渡航の許可を下さりました本吉満教授や歯科矯正学医局員の皆様に心より感謝申し上げます。
(准教授 歯科矯正学講座)



令和5年度 公開講座について

清水 康平

去る11月4日、「矯正歯科治療を安全に受けて頂くために—マウスピース矯正？ 矯正用インプラント？ 矯正治療？ など、知っておくべき基礎知識—」をテーマとし、歯科矯正学講座 本吉満教授にご講演をいただきました。

本公開講座は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、数年間開催を見送っており、今回が実に4年ぶりの開催となりました。本公開講座は、本館大講堂（創設百周年記念講堂）にて開催され、参加者数は約100名となり、講堂内は大盛況でした。



本テーマに至った経緯としましては、昨今の日本社会において、歯科矯正治療に関するトラブルのニュースが後を絶たないということが背景にありました。矯正治療をお考えの患者さんでも、専門的な内容に関しては、普段なかなか触れることが難しいと考えられます。そのような事にお悩みの患者さんに対し、矯正歯科治療の基本的知識を発信する機会を設けることが、結果として患者様の治療への選択の幅を広げることとなると考え、企画・広報委員会で協議し、本吉満教授にお願いする運びとなりました。

今回の講演では、矯正歯科治療の基礎的事項としてマウスピース矯正、矯正用インプラント、矯正用ブラケット等を用いた矯正治療の違いについて、治療前後の実際の症例をご提示いただきながら、専門的な知識をお持ちでない一般の方でも、十分ご理解頂けますよう、平易に解説をして頂きました。講演後、質疑応答の時間には、受講者から熱心な質問があり、盛況の後、幕を閉じることができました。終了後のアンケートでも、受講者からは、満足度が高く、非常に肯定的な多くのご意見をいただきました。

結びになりましたが、本公開講座を開催するにあたり、歯科矯正学講座 本吉満教授に心より御礼を申し上げます。また、関係各位のご尽力に、心から感謝申し上げます。
(准教授 歯科保存学第Ⅱ講座)

随 想

絆が強い日本大学歯学部

掛谷 昌宏



私は外部大学で工学部工業化学という歯科以外の分野の出身ですが、縁あってこの歯学部に来ることになりました。私が日本大学歯学部を知ったのは、1981年(昭和56年)でした。大学の卒業研究に外研というシステムが

あり、母校以外のいろいろな研究室に行き卒業研究を行うというもので、そこに日本大学歯学部がありました。当時の自宅から近いという安易な理由で選んだ事を覚えています。それが自分の人生の重要な決定になっていた事に後から驚きました。まず、まったく畑違いの歯科材料の研究室に来て材料の扱いに衝撃を受けました。化学の世界では何かを作る時は試験管やフラスコの溶液の中が一般的でしたが、歯科の世界では石膏などの無機物から樹脂や金属に至るまで手で練和して硬化させるという事に驚きました。また、ご指導いただいた先生方にも感銘を受けました。たとえば、先生方が仲間や後輩に無条件で助け船を出し、感謝の気持ちを伝えると「ありがたいと思ったら自分の後輩に同じようにしてやれ」と言っていたことを覚えています。多くの先生方が私にも同じように接して下さいました。私は、この気質は日大独特のものではないかと勝手に思っていますが、このことがこの学校で働けたらと思った一因です。大学院を修了後当時お世話になった西山先生に相談し、運良く就職できてから約40年この学校の暖かさを感じながら働かせていただいたと思っています。教育や研究でもこの考えに基づいて行動したいと考え、心がけてきました。また、歯科理工学のOBが多く所属していた東洋医学研究部というクラブ活動に監督や顧問として携わることもでき、この考えを皆に伝えられたらと考えて活動してきました。言葉で言うだけでは伝わらないと思い、何とか行動で伝えられないかと思ってきましたが、なかなかうまくいかずに藻掻いているうちにあっという間に月日が経ってしまいました。この日大気質が今後も続き、こんな外様の私を暖かく受け入れてくれた懐の広い教育機関で有り続けてもらえることを祈っています。(専任講師 歯科理工学講座)

「御茶ノ水とともに47年」

堤 博文

18歳で入学した当時、旧進学校舎(現3号館)で90分間の授業を受け、休み時間には地下1階の学食でA定食、放課後には蕎麦で腹を満たすという学生生活を送っていた。今ではその味が懐かしく思う。ある教科では、先生が下を向いて名前を呼んで出席を取っていたため、学生が10数名しかいないのに全員出席になっていた。ある時は授業をさぼり、喫茶店でコーヒーを飲みながらパックマンに没頭していた。人生劇場では100円で昼食代をうかせることもできた。その人生劇場も、コロナの波には勝てず今では本屋に代わってしまった。古本屋街で有名な街では何とも理にかなっている。太陽のもと松戸の河川敷でビールを飲みながら日焼けした球技大会は今では体育館に変わってしまった。5学年の後期から始まった臨床実習では、公衆電話から患者さんに電話してアポイントを取るのに苦労した。旧歯科病院3階の技工室でワックスアップや鑄造に没頭していた時間が懐かしく、良い経験となった。学生時代に最も苦労したのは全てが筆記問題の卒業試験だった。年末に基礎系、正月明けに臨床系の試験があり、今ではない卒論も課せられた。そのおかげで法医学講座に残るはめになったが、筆頭研究者として9回、共同研究者として10回科研費を取得できたことは、40年の研究人生において誇れる業績となった。



60周年(令和5年11月25日)



学一の時
(昭和54年のデンタル部旗)

店長と仲良くなった居酒屋では、閉店時間を過ぎて酒を飲みあかし、終電をのがし守衛さんを起こしたこともあった。テキーラを飲みすぎ、錦華公園で転び眼鏡が吹っ飛んだことも記憶にあたらしい。47年間、遊びごころを絶やさなかったことは私の個性そのものであるといえる。

住み慣れた1号館では、5時になるとどこからともなく聞こえてきた夕焼け小焼けが、新築の本館では聞こえなくなってしまったことは何とも悲しい。47年間ともに歩んだバレ部は、今年創部60周年を迎えた。私が定年退職するまでに完成すると思っていた御茶ノ水駅は今でも改修工事が続いている。

入学してから現在まで47年、時代とともに御茶ノ水の街はめまぐるしく変化してしまった。変わらないのは、ニコライ堂と私くらいであろう。

(専任講師 法医学講座)



「楽園のカンヴァス」

原田 マハ著

中井 久美子

生き方に影響を与えるほどの本にまだ出合っていないので、このタイトルと少しかけ離れてしまうかもしれませんが、本を読むのは好きなので一人の作家さんとの出会いについて書きたいと思います。

歯学部図書館の入口には、専門書ではなく小説をはじめエッセーや随筆と様々の種類の本が置かれています。

私は、図書館に行くと必ずその棚を見るようにしており、それをきっかけに好きになった作家さんがいます。

その作家さんの名前は原田マハさん。彼女の代表作としては『カフーを待ちわびて』が有名かもしれませんが、今回紹介したいのは『楽園のカンヴァス』という本です。この本はルソーの「夢」が表紙になっており、装丁に惹かれ手に取りました。物語はアンリルソーの名画に酷似した大作の真贋判定が軸となり進んでいきます。美術の知識がなくても登場人物による



「夢」 アンリ・ルソー

出典：フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

会話などから、どんどん物語に引き込まれていき、最後の結末にため息を漏らさずにはいられなくなりました。史実に基づいたフィクションのため、しだいにどこからが現実で、どこからが創作かがわからなくなり、読み手である私も物語に翻弄され、ページをめくる手が止まらなかったことを思い出します。

それ以来、原田マハさんのファンになり『たゆたえども沈まず』や『ジヴェルニーの食卓』『美しき愚かものたちのタブロー』など絵画を題材とした本を読んでいるのですが、博物館や美術館などで資料収集、展示、調査研究などに携わる専門職であるキュレーターとして活躍されていた経験と美術に関する幅広い知識に裏打ちされた、原田マハさんの物語は事実と虚飾を絶妙に織り上げて構成されているため、これが真実なのかとも思わせてしまう何かがあります。もし興味をもったら、この本を手にとってみてください。

(専任講師 衛生学講座)

■ 附属専門学校から

歯科技工専門学校

講義は3号館、歯科技工実習は本館で対面にて行っております。10月の駿技祭は夏休みを利用して学生達が一生懸命準備したミニチュア全部床義歯キーホルダーやセクシー大白歯などが大盛況で、すぐに完売しました。その製作過程が歯科技工士に必要な技能の習得に役立つ内容であったことから学生にも良い経験になったと思います。3年生は、11月に全国歯科技工士教育協議会主催の実技評価試験を終え、いよいよ卒業と国家試験に向けて、ラストスパートに入ってきました。3月の卒業式には全員国家試験に合格して春を迎えたいと思います。



ミニチュア全部床義歯キーホルダーやセクシー大白歯

歯科衛生専門学校

例年行われていました、日本大学歯学部創設百周年記念講堂での歯学部附属歯科衛生専門学校第2学年の戴帽式は、本年は第2学年不在の為、執り行っておりません。第1学年は、いよいよ基礎実習も終了し、緊張の中で過ごしながらも、将来自身が目指す歯科衛生士像を頭に描きながら、次年度への病院実習に向け、充実した日々を過ごしています。また第3学年は国家試験全員合格を目指して忙しい毎日を送っています。教職員一同、歯科衛生専門学校生が毎日充実したキャンパスライフを過ごせるように、全力でサポート、および応援をしていきます。



研修旅行の京都にて (第3学年)

学校医変更

令和6年1月1日より学校医が大槻怜先生（医学部 精神医学分野）となりました。在室時間は、第2・4木曜日（午後3時から午後5時）と昨年から曜日を変更しています。

毎週月曜日（午後1時から午後3時）は従前どおり米原啓之先生（口腔外科学第Ⅱ講座）が担当いたします。

父母懇談会開催

令和5年10月14日（土）本館において、個人面談が開催された。

318名のご父母が来校され、学年主任・クラス担任・学年ごとに配置された学務委員並びに学習指導委員の多数の先生方による学年別個人面談が行われ、子女の学生生活や出欠状況等の話がなされた。また、面談終了後には、ご父母と教員との懇親会が銀座アスター御茶ノ水賓館において和やかに開催された。



佐藤会

令和5年11月11日（土）に、本学部創設者の佐藤運雄先生のご遺徳を称えて毎年開催されている佐藤会が行われた。当日は本学部ならびに同窓会より役教職員が佐藤先生の菩提寺の青松寺へ墓参し、13時から式典を歯学部本館創設百周年記念講堂で挙行了。同窓会員と関係者が参集し、叙勲者紹介、名誉会員記贈呈、佐藤賞授与が行われた。本年度の佐藤賞は学内から篠塚啓二先生（口腔外科学第Ⅰ講座 専任講師 学52）「閉塞性睡眠時無呼吸に対する上下顎前方移動術が上気道呼吸状態に与える影響」、学外から相澤正之先生（学43）「下顎義歯の吸着を可能にする総義歯臨床の実際」に授与された。

NewsPlus α

☆インフルエンザワクチン接種実施

令和5年10月31日（火）に教職員、11月15日（水）に学部第6学年学生、技工・衛生専門学校第3学年生徒の希望者に実施されました。

☆クリスマスイルミネーション点灯

図書館前に飾られていたクリスマスツリーに、山崎サンタクロスから3D技法が駆使された歯学部ならではのオーナメントがプレゼントされました。左上のゴールドが下顎大白歯、右下のパープルが上顎大白歯です。それぞれ植立方向（口の中で歯がはえている向き）にそくして飾られていました。



☆図書館開館時間について

1月 9日（火）	}	開館時間延長
\		【平日】 9：00～22：00
1月26日（金）		【土曜】 9：00～18：00
1月27日（土）	}	通常開館
\		【平日】 9：00～21：00
2月29日（木）		【土曜】 9：00～18：00
3月 1日（金）	}	短縮開館
\		【平日】 9：00～17：00
3月30日（土）		【土曜】 休館

☆歯学部OPACが新しくなりました

歯学部の蔵書検索システムOPACがバージョンアップしました。おすすめの新機能は①OPACから医中誌Webなどの論文検索が可能になった②書評を投稿できる③書影表示が充実したことなどです。



詳細は↑ページをチェック

学 事

令和6年度入学者選抜

【一般選抜 (N全学統一方式第1期)〈日本大学が実施する試験〉】

- ◆募集人数 9名
 - ◆出願期間 令和6年1月5日(金)～1月19日(金)
 - ◆試験期日 令和6年2月1日(木)
 - ◆合格発表 令和6年2月10日(土)
 - ◆入学検定料 24,000円
 - ◆選考方法 ①数学①「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」②理科「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択
③外国語「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」
- ※理科において、医学部を併願している場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。
※合否判定は標準化得点で行う。

【一般選抜 (N全学統一方式第2期)〈日本大学が実施する試験〉】

- ◆募集人数 3名
 - ◆出願期間 令和6年1月5日(金)～2月23日(金・祝)
 - ◆試験期日 令和6年3月4日(月)
 - ◆合格発表 令和6年3月14日(木)
 - ◆入学検定料 24,000円
 - ◆選考方法 ①数学①「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」②理科「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択
③外国語「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」
- ※理科において、医学部を併願している場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。
※合否判定は標準化得点で行う。

【一般選抜 (A個別方式)〈歯学部が実施する試験〉】

- ◆募集人数 60名
 - ◆出願期間 令和6年1月5日(金)～1月19日(金)
 - ◆試験期日 令和6年2月3日(土)
 - ◆合格発表 令和6年2月10日(土)
 - ◆入学検定料 50,000円
 - ◆選考方法 ①数学「数学Ⅰ・数学Ⅱ」②理科「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択
③外国語「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」④小論文(60分・字数は当日指定)⑤面接
- ※理科の選択科目において、平均点に20点以上の差が生じた場合は、得点調整を行う。
※合否判定は素点で行う。

【一般選抜 (C共通テスト利用方式第1期)〈大学入学共通テストを利用する試験〉】

- ◆募集人数 10名
 - ◆出願期間 令和6年1月5日(金)～1月19日(金)
 - ◆試験期日 ◇大学入学共通テスト
令和6年1月13・14日(土・日)
 - ◆合格発表 令和6年2月19日(月)
 - ◆入学検定料 24,000円
 - ◆選考方法
◇大学入学共通テストでは、下記の教科・科目を受験すること。
①国語「近代以降の文章のみ利用」②理科「物理」「化学」「生物」のうちから1科目選択 ③外国語「英語」
- ※理科(基礎を付していない科目)において、2科目受験した場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。外国語「英語」において、リスニングの成績は利用しない。

【一般選抜 (C共通テスト利用方式第2期)〈大学入学共通テストを利用する試験〉】

- ◆募集人数 2名
 - ◆出願期間 令和6年1月5日(金)～2月16日(金)
 - ◆試験期日 ◇大学入学共通テスト
令和6年1月13・14日(土・日)
 - ◆合格発表 令和6年2月29日(木)
 - ◆入学検定料 24,000円
 - ◆選考方法
◇大学入学共通テストでは、下記の教科・科目を受験すること。①理科「物理」「化学」「生物」のうちから1科目選択②外国語「英語」
- ※理科(基礎を付していない科目)において、2科目受験した場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。外国語「英語」において、リスニングの成績は利用しない。

歯学部行事予定

- | | | |
|----|---------------|-----------------------------|
| 1月 | 27日(土)・28日(日) | 第117回歯科医師国家試験 |
| 2月 | 1日(木) | 一般選抜(N全学統一方式第1期) |
| | 3日(土) | 一般選抜(A個別方式) |
| | 10日(土) | 一般選抜(N全学統一方式第1期、A個別方式)合格者発表 |
| | 19日(月) | 一般選抜(C共通テスト利用方式第1期)合格者発表 |
| | 29日(木) | 一般選抜(C共通テスト利用方式第2期)合格者発表 |
| 3月 | 2日(土) | 大学院入学試験(第2期) |
| | 4日(月) | 一般選抜(N全学統一方式第2期) |
| | 12日(火) | 大学院入学試験(第2期)合格者発表 |
| | 14日(木) | 一般選抜(N全学統一方式第2期)合格者発表 |
| | 15日(金) | 第117回歯科医師国家試験合格発表 |
| | 25日(月) | 日本大学歯学部卒業式・学位記伝達式 |

お知らせ

寄付金の受け入れ

= 研究助成金 =

- 50万円 クラレノリタケデンタル株式会社
歯科保存学第Ⅰ講座へ
(代表取締役社長 山口 里志 殿) 5.10.31
- 50万円 クラレノリタケデンタル株式会社
歯科補綴学第Ⅲ講座へ
(代表取締役社長 山口 里志 殿) //

編集後記

息子は虫にはまっている。虫にはまるのは子供が通る道の一つかもしれないが、あんなに虫について話しているところを見ると、しっかりとハマったようである。もう少し大きくなって勉強が忙しくなったら、虫を追いかける時間も減ることだろう。周りの目が気になってきたら、はずかしがってみんなの前で熱く話さなくなるかもしれない。そんなことも思いながら、息子の虫への熱い思いを毎日聞いている。

桜歯ニュースに原稿を寄せていただいた学生や教職員に感謝する気持ちは年々増している。断られることもあるのだが、忙しい中であるにも関わらず、快く引き受けていただいている。そして、いただいた原稿には、熱い思いが詰まっているように思う。大人になっても、はまっていることや、本学について語りたいことはありませんか。文章が上手でなくても大丈夫です。恥ずかしがらないで、桜歯ニュースに多くの人の熱い思いを寄せていただけたらうれしいです。(M.M)

表紙の写真は佐藤紀子先生（健康科学分野）にご提供頂きました

第221号 日本大学歯学部発行
東京都千代田区神田駿河台1-8-13 TEL 03 (3219) 8001